

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 302 少年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 飯塚 勝

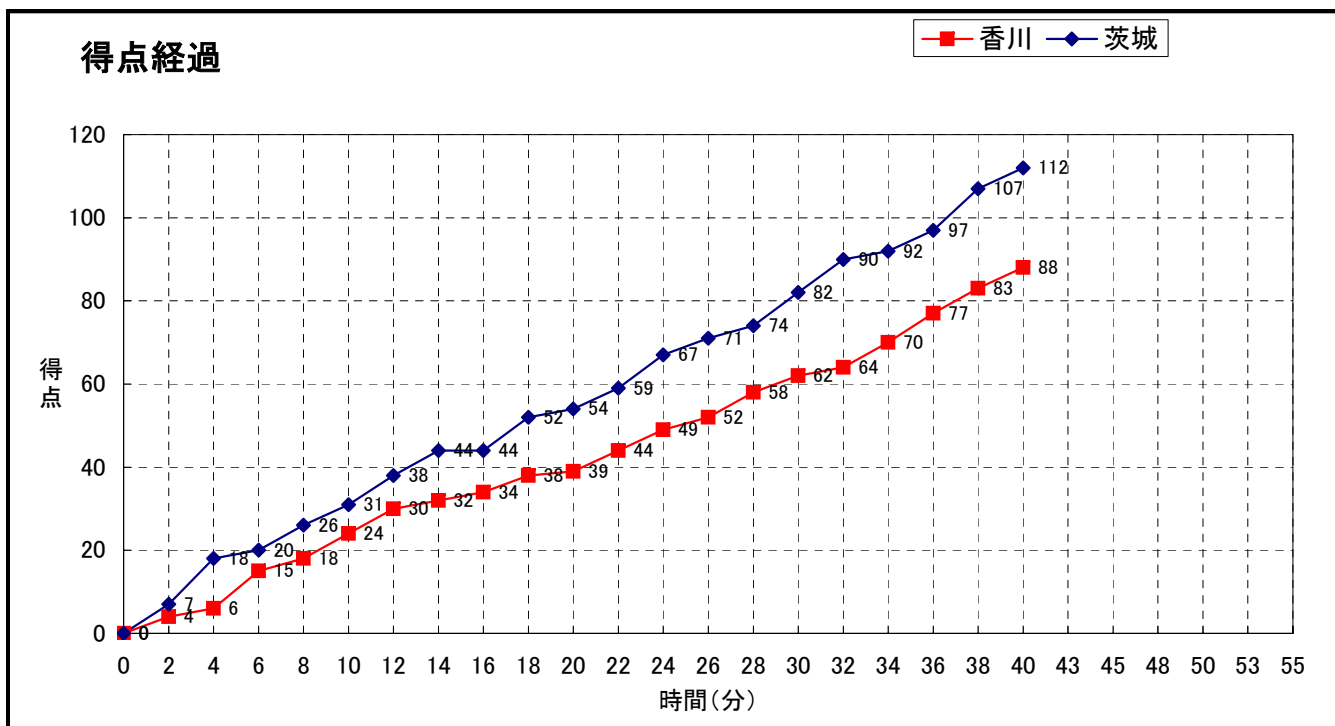
開始時間: 10:00

副審: 嶋田 博昭

終了時間: 11:26

茨城 (関東)						香川 (四国)									
○ 112						● 88									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小沼 龍一	14	3	0	5	1	4		黒田 恵太	4	0	2	0	0
5	*	黒田 幸太	24	1	9	3	2	5	*	南 広起	17	2	5	1	5
6	*	鈴木 恵二	19	2	5	3	1	6	*	松林 弘祐	7	1	2	0	3
7		保科 孝幸	5	0	2	1	4	7	*	本井 敏雄	22	1	9	1	3
8	*	大槻 涼	30	4	6	6	1	8		益満 貴幸	-	-	-	-	-
9		細谷 真吾	2	0	1	0	2	9	*	滝井 慎	7	1	2	0	5
10		矢代 和也	3	0	1	1	1	10		村井 宣裕	3	1	0	0	1
11		倉本 雅之	0	0	0	0	0	11	*	新居 拓人	13	0	4	5	4
12		外岡 孝幸	2	0	0	2	0	12		山下 翼	15	5	0	0	2
13		神原 一貴	0	0	0	0	0	13		山下 翔	-	-	-	-	-
14	*	富塚 啓介	13	0	6	1	1	14		近井 恭平	0	0	0	0	0
15		神池 隆浩	-	-	-	-	-	15		山根 健司	-	-	-	-	-
コーチ 茅根 裕						コーチ 金丸 充茂									
合計			112	10	30	22	13	合計			88	11	24	7	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、茨城は2-1-2のゾーンで積極的にプレッシャーをかけ、#14富塚の速攻を皮切りに、#8大槻の3Pシュートやセンターのポストでの1対1等で加点していく。対する香川はハーフコートのマンツーマンディフェンス。#12山下の3Pシュートなどで得点するが、31対24の7点差で茨城がリードし終了。

第2ピリオド、両チーム同じディフェンスでスタート。出足香川は、#11新居のインサイドで点差を詰めるが、茨城は#4小沼#8大槻の3Pシュートを中心に加点し、54対39の15点差で前半を終了した。

第3ピリオド、香川はディフェンスを3-2に変えプレッシャーをかけるが、対する茨城もハーフコート2-1-2ゾーンプレスでダブルチームをしかけて、スティールをねらい、前半は、#6鈴木の本のスティールからの速攻と2本の3Pシュート、後半は#5黒田のリバウンドシュート2本、#8のスティールから速攻とジャンプシュートなどで着実に加点した。香川#7本井#5南が踏ん張るが、82対62の茨城20点リードで終了。

第4ピリオド、残り5分で香川はタイムアウトからオールコートのマンツーマンディフェンスでプレスをかけ、#5南#6松林らが、3Pシュートを決め追い上げるが、茨城#6鈴木の冷静なリードから、#14富塚がゴール下に合わせての加点などでさらに差を広げ、112対88で茨城が勝利をものにした。

担当者: 角田 誠(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会